

# 県外派遣審判員報告書

作成日 平成29年 5月 15日

大会名		南九州四県対抗大会		会場		大分県立総合体育館		
期間		4月29日～4月30日		報告者		山中萌衣		
スケジュール								
期日		内容				場所		
4月29日(土)		10:40～、 13:40～		女子予選リーグ(Aパート)を担当		大分県立総合体育館		
4月30日(日)		10:30～		女子3位リーグ(Aパート)を担当		大分県立総合体育館		
実技		割り当て		中津北(大分)vs慶誠(熊本)		副審	相手	篠田 氏(大分県)
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス) エリア(特にPrimary)やエリア3、エリア4での受け渡しの確認。二人の協力(アウトオブバウンズ等)。</p> <p>○ゲームの実際 判定に関して、ファールについては捉えられてはいたものの、トラベリングについて少々見落としが多かった。前半で、プレーに近すぎてしまったために、止まり方でのトラベリングを見逃してしまったケースがあった。後半は位置に関しては修正してできたと感じる。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 前半にトレールの時、自分でも感じていたプレーに近すぎるとのこと指摘をいただいた。そのためプレーの全体が視野に入っていなかったり、次のプレーに振られて判定が遅れたりすることがあったとのこと。位置が定まっていなかったように見えたとわれ、確かにピックプレーの見方についてどこがスペースを捉えられるかと考えながら動きすぎていた。もっと余裕を持って広い視野で見れば、いい判定につながるのとことであった。</p>								
実技		割り当て		藤蔭(大分)vs小林(宮崎)		副審	相手	佐伯 氏(大分県)
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス) エリア(特にPrimary)やエリア3、エリア4での受け渡しの確認。二人の協力(アウトオブバウンズ等)。</p> <p>○ゲームの実際 1ゲーム目の反省を踏まえ、トレールでの位置取りを意識して取り組んだ。ハンドチェックやトラベリングについて試合の早い段階から笛を入れることができたが、プレイヤーが交代した時の対応が甘かったように感じる。そのため、試合が終盤になってもバタバタした展開にしてしまった。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 自分がトレールで追従している時、リードが受けて見ていた目の前の現象を吹きにいったケースについて、二人の協力として目の前の現象を吹かなくても良かったのではないかとご指摘いただいた。相手の位置まで確認できていなかったなと感じることができ、もっと位置を工夫する必要があると感じた。判定に関しては、同じ現象には同じ笛を吹くことや、手の使い方に関してもっと整理することが必要だと感じた。</p>								
実技		割り当て		大分商業(大分)vsれいめい(鹿児島)		副審	相手	片岡 氏(大分県)
<p>○ゲーム前(プレカンファレンス) エリア(特にPrimary)やエリア3、エリア4での受け渡しの確認。二人の協力(アウトオブバウンズ等)。</p> <p>○ゲームの実際 昨日のゲームでは位置取りが悪く判定できていないことが多かったので、この試合も位置取りを意識して臨んだ。入り方では、お互いのエリアを無理にいくことなく判定できていた。試合内容が終始接戦だったため、とても面白い試合だった。しかし、自分の判定に関して、判定できないケースが多く残った試合だった。</p> <p>○ゲーム後(ポストカンファレンス) 限られたプレーを長く追っていて視野が狭くなっている時間帯があるとご指摘をいただいた。オフボールのところなど、気になる箇所を目を当てすぎていた。試合の入りは、オフボールも含めしっかりと判定できていたのでそれを続けられると良いとのことであった。</p>								
全体を通しての感想								
<p>今大会、3ゲーム通して位置取りが良くなかったと感じました。判定ができていない時は位置に問題があったため、良い判定をするためには位置取りが大事だと痛感しました。判定ができていない時と出来ていない時の差が多々あり、一試合通して同じように判定できるよう取り組まないといけないと思いました。 今大会への派遣をしてくださった本県審判長や大分県審判部の方々に感謝申し上げ、南九州四県対抗大会の報告いたします。</p>								